

## 園だより 5月

子供たち、主に結ばれている者として両親に従いなさい。それは正しいことです。  
エフェソの信徒への手紙 6章 1節

心地良い気候の中ゆっくりと過ごした4月。様々な子どもたちの様子、心の動きの変化に新学期ならではの心持ちが感じられました。子どもたちのペースで自らの心と体が動き色々な遊びが展開され始めた幼稚園での日々、大切な大切な育みの日々。その日々が今年度は4月から守られましたこと、感謝の思いでいっぱいです。

園庭で毎朝お家の方、子どもたち一人ひとりを迎えるひととき。新入園児たち、一つ大きくなった進級児たち、その子その子のその日その日の想いが挨拶を交わすほんのわずかなときの中伝わってきています。幼稚園が楽しみで早く遊びたい気持ちが溢れている子。お母さんと離れなくてはならない不安はある、けれど何をして遊ぼうかと気持ちが入り混じった子。お母さんが一番、絶対に離れたくない気持ちいっぱいの子。一つ大きくなったから大丈夫と自信が感じられる子。大きくなって嬉しいけれど、でもちょっとドキドキ、が伝わってくる子。その子によって、その日によって子どもたちの気持ちは様々に違います。ありのままの子どもたちの心持ちを受け止め、それぞれに寄り添われる保護者の方々のお気持ちも心に留めながら、「いのち」をお預かりすることへの責任とその嬉しさを言葉に込めて「お預かりいたします」とお伝えしお迎えしております。どの様な心持ちであっても全てが成長に大切なとき。子どもたちの「今日」という一人ひとりの掛け替えのない日が、沢山の恵みに溢れ豊かなときであります様にと祈りと共に。

幼稚園での子どもたちの新年度は順調にスタートしましたが、4月末、緊急事態宣言が発出されました。教育機関に対する行政からの指導は「感染症対策を徹底しながら学校（園）運営を継続します」とありますので、5月の園生活は通常通りに進めていく予定です。出来得る限り子どもたちにはコロナ禍の影響を感じさせず、十分に心と体を動かし様々な育みが成される園生活を願い、環境を調べ過して参りたいと思います。そのためには幼稚園で、各ご家庭で、個々に、徹底できることを再確認し、感染に対するよりしっかりとした予防を心に留め今では当たり前な新しい生活習慣をそれぞれに実践することが大前提と考えます。また、これからの状況変化に園として迅速に対応することも不可欠と思います。臨機応変に対応をして参りますことも含め、変わらないご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

子どもたちと共に心地よい5月の風を感じながら。

園長 駿河 幸子